

雇用情勢の悪化、求人広告市場の急速な縮小により、業績は大幅に悪化

- 売上高は前年同期比 28.4%減の 8,413 百万円、営業損益が同 1,622 百万円減の 998 百万円の損失、経常損益が同 1,704 百万円減の 1,049 百万円の損失、当期純損益が同 1,626 百万円減の 1,330 百万円の損失となりました。
- 『DOMO』の売上高は、前年同期比 31.6%減の 7,155 百万円となり、全版において減収となりました。企業業績の悪化に伴い、幅広い業種において人件費・採用費を大幅に削減するなど、業績に大きく影響しました。
- 業績連動の利益配分方針を採用しているため、当期の期末配当は見送らせていただきます。
- 次期の連結業績予想は、売上高が前年同期比 33.5%減の 5,595 百万円、営業損益が同 94 百万円増の 904 百万円の損失、経常損益が同 154 百万円増の 895 百万円の損失、当期純損益が同 346 百万円増の 984 百万円の損失となる見込みです。厳しい環境を打破すべく、「営業力の強化」「収益構造の改善」「事業領域の拡大」を積極的に進めてまいります。

業績のご報告にあたって

株主の皆さまには格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期における当社グループの事業を取り巻く環境は、国内外の景気の悪化が雇用情勢に大きく影響し、有効求人倍率の低下、求人広告市場の縮小が見られました。そして、サービスの差別化が難しい中での同業他社との競争がより熾烈化しました。その結果、当期の業績に多大な影響を及ぼし、赤字転落、配当見送りと、株主の皆さまにはご心配をお掛けする結果となり、大変申し訳ございませんでした。

今後はより安定した収益基盤の構築及び商品・サービスの拡充を図ることが最優先課題と考えており、次期においては「営業力の強化」「収益構造の改善」「事業領域の拡大」に取り組んでまいります。

まず「営業力の強化」では、顧客との対話をより大切にし、接触量を増加させることで、他社との差別化となる営業体制を構築します。また、ターゲット業種やエリア選定に応じた地域単位での組織再編や機能・役割の向上を推進し、マネジメント力の向上や人材の育成にも積極的に取り組むことで、顧客に“選ばれる”企業を目指します。

次に「収益構造の改善」では、当期以上に大幅にコスト構造の改善を図ってまいります。

最後に「事業領域の拡大」では、当社グループの経営資源を最大限活用しながら、業種・地域ごとの顧客に対して、多様化するニーズを検証し商品・サービスの開発を行います。そして事業領域を広げることで、顧客との取引機会をより拡大してまいります。引き続き新規事業の開発を進める中、求人情報ビジネスを補完する新たな商品やサービスの開発にも取り組んでまいります。

今後も当社グループを取り巻く環境が好転するかどうか、予断は許される状況ではなく、次期の連結業績は損失を見込んでおりますが、従業員一同、一丸となって取り組み、より一層の成長を期待できる体制を整備してまいります。今後も引き続き株主の皆さまからのご支援を賜りたいと思います。よろしく御願い申し上げます。

平成 21 年 4 月

代表取締役社長 垣内 康晴

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

株主の皆さまからのお問い合わせ先：

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300

平成 21 年 2 月 期 通 期 連 結 業 績 の ご 報 告 (そ の 2)

■ 通期の連結業績(平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)

百万円	平成21年2月期 通期実績		平成20年2月期 通期実績		前年同期比		平成21年2月期 通期予想 (修正予想)		修正予想比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	8,413	100.0	11,748	100.0	△3,334	△28.4	9,537	100.0	△1,123	△11.8
無料求人情報誌	7,155	85.1	10,459	89.0	△3,303	△31.6	8,303	87.1	△1,147	△13.8
求人情報サイト	145	1.7	91	0.8	54	59.2	129	1.4	15	12.1
FP 取次	1,112	13.2	1,197	10.2	△85	△7.1	1,104	11.6	8	0.8
売上原価	3,035	36.1	3,889	33.1	△854	△22.0	3,292	34.5	△257	△7.8
販管費	6,376	75.8	7,234	61.6	△857	△11.9	6,597	69.2	△220	△3.3
営業損益	△998	△11.9	623	5.3	△1,622	—	△353	△3.7	△645	—
経常損益	△1,049	△12.5	654	5.6	△1,704	—	△336	△3.5	△713	—
税金等調整前	△1,105	△13.1	526	4.5	△1,631	—	△368	△3.9	△737	—
当期純損益	△1,330	△15.8	296	2.5	△1,626	—	△220	△2.3	△1,110	—
EPS	△¥38.86		¥8.55				△¥6.36			

(注1) 無料求人情報誌:『DOMO』『maido DOMO』、求人情報サイト:『DOMO NET』『ESHIFT』『正社員 JOB』、
FP 取次:フリーペーパー取次、販管費:販売費及び一般管理費、
税金等調整前:税金等調整前当純損益、EPS:1株当たり当期純損益

(注2) 『ESHIFT(イーシフト)』は平成 19 年9月をもって『DOMO NET』へ統合しました。

(注3) 通期予想は、平成 20 年8月 18 日に公表した予想修正後数値に基づいた表記となっております。

前年同期に対して大幅に減収減益

当期の連結業績は、売上高が前年同期比 28.4%減の 8,413 百万円、営業損益が同 1,622 百万円減の 998 百万円の損失、経常損益が同 1,704 百万円減の 1,049 百万円の損失、当期純損益が同 1,626 百万円減の 1,330 百万円の損失となりました。

売上原価につきましては、売上高の減少により、印刷費が同 30.2%減の 1,697 百万円、労務費が同 23.5%減の 151 百万円となり、全体で同 22.0%減の 3,035 百万円になりました。

販売費及び一般管理費につきましては、業務の見直しや流通費の削減により、同 11.9%減の 6,376 百万円となりました。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

株主の皆さまからのお問い合わせ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300

全国で求人広告件数は大幅に減少し、『DOMO』事業を直撃

当社グループの主力事業である『DOMO(ドーム)』の売上高は、前年同期比 31.6%減の 7,155 百万円となりました。

国内外の景気の悪化が雇用情勢に大きく影響し、前期から落ち込みのある人材サービス企業及び製造業からの出稿が想定以上に減少しました。また、消費者の購買意欲の減退により、飲食・販売・サービス業においても出稿が減少するなど、幅広い業種において売上高が大きく減少しました。さらに、求職者からの応募が増え、採用も容易になる中で連続掲載回数が減少したことも影響しました。

厳しい環境だからこそ、新規顧客の開拓のために営業力の強化を行い、顧客訪問数、接触数を増加させた結果、静岡県下、名古屋中心部、大阪中心部ではシェアの拡大・維持はできたものの、求人広告市場の落ち込みをカバーできませんでした。

その結果、首都圏版では同 34.9%減の 1,758 百万円、静岡3版では同 25.9%減の 3,242 百万円、名古屋版では同 29.7%減の 941 百万円、大阪版では同 27.9%減の 578 百万円となり、主な版全てにおいて、売上高が大幅に減少しました。

『DOMO NET(ドームネット)』につきましては、『DOMO』と完全一体型商品としてセット販売をしておりますが、『DOMO NET』単独での売上になる、地域ごとの特別企画におけるタイプアップ販売(『DOMO NET』で上位表示される機能)の促進や、トップページから求人広告に直接リンクを貼るバナー広告の販売により、同 126.7%増の 143 百万円となり、前期より積み上げることができました。

採用支援サービス本部が展開する事業は、顧客のニーズはあるものの、急激な景気の悪化に伴い、採用費・研修費を削減する動きが顧客企業の中で広がっており、取引は『DOMO』『DOMO NET』の受注にとどまっております。

連結子会社である株式会社リンクが行うフリーペーパー取次事業につきましては、名古屋では新商品展開が奏功したものの、他地域では主要顧客の廃刊や統廃合が影響し、全体では同 7.1%減の 1,112 百万円となりました。

株式会社 NNC が販売する『正社員 JOB』(現『Jobee by 正社員 JOB』)につきましては、商品力の向上に主眼を置いて活動し、売上高は1百万円となりました。

■ 次期の連結業績予想

次期の連結業績予想は、売上高が前年同期比 33.5%減の 5,595 百万円、営業損益が同 94 百万円増の 904 百万円の損失、経常損益が同 154 百万円増の 895 百万円の損失、当期純損益が同 346 百万円増の 984 百万円の損失となる見込みです。

当社グループの事業を取り巻く環境は、雇用情勢の悪化等に見られるように、今後も厳しい状況が続くと思われます。今後はより安定した収益基盤の構築及び商品・サービスの拡充を図ることを最優先課題とし、「営業力の強化」「収益構造の改善」「事業領域の拡大」を積極的に進めてまいります。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。



平成 21 年 2 月 期 通 期 連 結 業 績 の ご 報 告 (そ の 4)

通 期 連 結 業 績 予 想 (平 成 22 年 2 月 期)

百万円	平成22年2月期 通期予想		平成21年2月期 通期実績		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	5,595	100.0	8,413	100.0	△2,818	△33.5
無料求人情報誌	4,125	73.7	7,155	85.1	△3,030	△42.3
求人情報サイト	550	9.8	145	1.7	405	278.4
FP 取次	851	15.2	1,112	13.2	△261	△23.5
その他	67	1.2	—	—	67	—
売上原価	2,168	38.8	3,035	36.1	△866	△28.6
販管費	4,331	77.4	6,376	75.8	△2,045	△32.1
営業損益	△904	△16.2	△998	△11.9	94	—
経常損益	△895	△16.0	△1,049	△12.5	154	—
税金等調整前	△942	△16.8	△1,105	△13.1	163	—
当期純損益	△984	△17.6	△1,330	△15.8	346	—
EPS	△¥29.27		△¥38.86			

(注) 無料求人情報誌:『DOMO』『maido DOMO』、求人情報サイト:『DOMO NET』『正社員 JOB』、
FP 取次:フリーペーパー取次、販管費:販売費及び一般管理費、
税金等調整前:税金等調整前当期純損益、EPS:1株当たり当期純損益

■株主総会開催予定日及び第1四半期決算発表予定日のお知らせ

第 36 回定時株主総会は、5 月中旬に招集通知を送付し、5 月 27 日(水)に東京で開催する予定です。

また、平成 22 年 2 月 期 第 1 四 半 期 決 算 発 表 予 定 日 は、平 成 21 年 6 月 下 旬 を 予 定 し て お り ま す。当 社 ホ ー ム ペ ー ジ で は 決 算 発 表 予 定 日 な ど IR 関 連 の ス ケ ジ ュ ー ル を 掲 載 し て お り ま す の で、イ ン タ ー ネ ッ ト に 接 続 で き る 環 境 に あ る 方 は ぜ ひ ご 活 用 く だ さ い。

URL: <http://www.atimes.co.jp/corporate/index.html>

電子メールアドレスのみで登録が可能な「ニュースメールマガジン」では、ホームページの更新情報やニュースリリースを無料でお届けしております。こちらもあわせてご利用ください。

誠に勝手ながら、四半期決算発表毎にお送りしておりました「業績のご報告(株主レター)」は、当期をもって郵送を終了させていただきます。お電話やメールでのお問合せは随時承っておりますので、引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

株主の皆さまからのお問い合わせ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR 課

E-mail: ir@atimes.co.jp Tel: 03-5202-1242 Fax: 03-5202-2300